



カレッジ college news だより

2004 Mar.
vol.

5

道民カレッジ受講生数
13,165人(3月5日現在)

「学ぶことは、楽しい」

環境生活コース 道民カレッジ博士
釧路町 松田仁明氏



私が道民カレッジに入学したのは、開講直後の平成13年10月でした。ガイドブックを入手し先ず感じたことは、地元の講座が少ないことでした。初年度は、放送講座だけで、連携講座は受講できませんでした。

平成14年、15年と奮起して、札幌へ出向くことになりました。単位の大きい講座や一泊して二日ばかりで受講できるものを重点に計画を立てました。半年後からは他の地方の講座も対象にしたところ、一年半ほどで、博士を申請するまでの単位を得ることができました。

カレッジへの入学は、定年後の生きがいづくりを主な目的としましたが、各種の講座で有意義な時間を過ごしました。

大学の公開講座では、学生と机を並べて、緊張感を味わい、青年の家などのボランティア講座では、学生や若者といっしょに行動し楽しい時間を過ごしました。

開拓記念館や開拓の村での博物館講座では、今までふれることの少なかった北海道の歴史について興味深い学習ができました。また、文書館の古文書の講座は、私にとって全く新しい出会いでした。

地元の釧路では、教育大学と釧路高専で幾つかの公開講座がありましたので、コースに関係なく出来る限り出席しました。特に教育大学のモーツァルトのオペラやベートーヴェンのピアノ音楽の鑑賞などクラシック音楽にもふれることができましたし、高専では、文学講座など一般教養の講座もありました。

今後、地元での講座がもっと多く開講されることを望むとともに、受講者ももっと増えて活気のある道民カレッジになってほしいと思います。



平成15年度連携講座の集計と管内別道民カレッジ受講生数をお知らせします

平成15年度前期、後期の連携講座の集計ができましたので報告します。各市町村教育委員会、高等教育機関をはじめ、各団体等の御協力のおかげで、連携講座数が道民カレッジ初年度（平成13年）から比較すると約7倍に増加しました。また、道民カレッジ受講生数は13,165名となり、道民の生涯学習の輪が着実に広がってきています。

【平成15年度連携講座の集計】

- ほっかいどう学コース 103講座 ●能力開発コース 134講座 ●環境生活コース 187講座
- 健康・スポーツコース 105講座 ●教養コース 411講座

合計940講座

【道民カレッジ受講生数】

平成16年3月5日現在

管内	石狩	渡島	檜山	後志	空知	上川	留萌	
受講生	4,703名	692名	951名	1,044名	773名	505名	578名	
管内	宗谷	網走	胆振	日高	十勝	釧路	根室	不明
受講生	478名	598名	322名	719名	426名	636名	739名	1名

道民カレッジ受講生の寄稿文より

生涯学習を熱心に実践されている受講生が寄せてくれた文章を御紹介いたします。

「自分らしさを生かして学ぶ」

— あこがれだけで終わらせない —

北見市 早坂 惇司 氏



平成13年「道民カレッジ」開設以来、学園の主旨に沿った講座一覧や講座内容等を参考にしながら受講をすすめ3年を経過した。

充実した学習機会に恵まれ、学習環境にひとり、道民のひとりとして学び続け、現在に至っている。

○「道民カレッジ」入学の経緯

12年前、世間並みに大過なく地方公務員の職を定年退職した。その後の余暇は、主に放送を利用して、著名な方の話を聴く程度で過ごせたらと、軽い気持ちで選んだのが当時放映されていた「北海道・大学放送講座」の受講だった。

退職後間もなく再就職したが「北海道・大学放送講座」は午後9時からの放送時間帯であったことから、内容が日々の生活に役立つものであったことから、継続して視聴した。

ところが、この講座は平成12年で終了した。

自宅に居ながらにして学べる学習機会が閉ざされたと、一時は戸惑いを感じた。

しかし、平成13年度から新たに「道民カレッジ」が開講されることを知り安心した。

早速申し込んだ。受講後の学習時間は自己の都合に合わせて、専門コース・選択コースとのバランスを考え、自己に応じた学習を進めている。

○「道民カレッジ」の魅力

「道民カレッジ」の魅力は…と問われたらわたしは即座に、「むりなく学べることができるから……」と答えることにしている。

なぜなら、「道民カレッジ」の学園の方針ともいえる「いつでも、どこでも、希望するものを選択して学ぶことができる」ということに通じるからだ。五つのコース名も新鮮でまちづくりを支える人材育成を視野に入れた「北のくにづくり」への挑戦へつなげるという発想も光り

輝く。

また、開催講座の案内もきめ細かく配慮がなされ多様に準備されている。例えば、「大学放送講座」では、早い時期から放送日程、スクーリング実施日時、会場が知らされること、テキストなども低額で早くに入手できることがあげられる。「連携講座」ガイドブックが、北海道内市町村の各機関、市役所、役場、公民館等の窓口で自由に入手できる便宜が図られている。また、独自に、支庁・市町村関係機関・関係諸団体の発行する各種情報紙、パンフレット、ホームページ等も数多くある。このような案内や資料から、自分に合った講座を、むりなく選択することができる。

自宅に居ながらにして学べる「大学放送講座」、道内各地で開催され自宅から通うことができ、学ぶ仲間と一緒に出席できる「連携講座」の魅力には計り知れないものがあり、学ぶ自由に満ちている。

○学び方に工夫をこらして

「主催講座」・「連携講座」共に講義を受ける前に、わたしの場合、準備に多少時間をかけることにしている。例えば「大学放送講座」であるならば、放送終了後レポートを作成し翌日には送付するという作業があるし、「連携講座」であるならば、自分で実施機関や主催団体へ受講申込みの手続きや、用意すべき用具等を確認しておく必要があるからだ。今までの例をあげると次のようになる。

(1)「大学放送講座」の視聴の場合

事前に道民カレッジ事務局より、○年度「道民カレッジ『大学放送講座』のお知らせ」という形で案内がある。合わせてテキストの入手方法、放送日程等が知らされる。

放送日程から逆算して、テキスト到着後予習、ノートの準備(全6回記録可能な厚手のノート、左ページ項目、右ページ視聴にあたって速記の形で短語的あるいは短文で記録するページ)、他に大型の白紙の厚手のカード)放送中講師が示した図表、グラフ、構成図、あるいは写真等の特徴的なものの概要を書き込むもの数枚)、復習は主な理解したことがらを重点的に、記憶が定かなうちにレポート作成に着手する。録画は参考程度としている。レポートは短時間に精力的に仕上げる。

(2) 「連携講座」や「スクーリング」の場合

これからの講座を受講するときは、会場には約30分から1時間前に到着するよう心がけている。受付場所、メイン会場等を確認する余裕が必要であるからだ。また、受付後配布される資料やレジュメ等に目を通すことで、講義の項目や順序やある程度の内容を知ることができる。また、「スクーリング」の資料やレジュメならば、持参したテキストとの関連事項を照合できるし、質問事項等のメモを準備しておくことも可能だ。

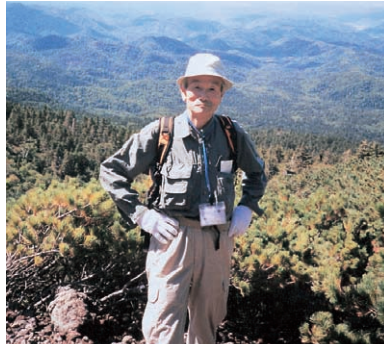
さらに、休憩時間等を利用して学ぶ仲間との語らいを進んです。柔軟な発想の持ち方や発想の転換の仕方に教えられる点が多い。

また、自宅にこもって独学、独習にありがちな「独り学習」の労苦、非能率性、むだ、視野の狭さ等を解消する方策として、友から学ぶことは、現代的生涯教育の理念に通じる。

今後も一層「連携講座」や「スクーリング」の場や機会を大切にしていきたいと考える。

○学習の成果を生かす

「道民カレッジ」は「学びを通して自分を高

めるとともに、地域などで生かす」ことをねらいとし、「学びを通して、活力ある地域社会を創っていくための開かれた学園」であることを示されている。これらの期待に対して、わたし達は道民の一人として、「道民カレッジ」で得た学習の成果を、自分自身の向上と自信に結びつけるとともに、地域や地域の人々に対して、ボランティアとして支援していく必要があると考える。わたしの場合、現在、環境省東北北海道地区自然公園指導員として、「阿寒国立公園阿寒湖パークボランティアの会」に所属し、年間四季を通じて阿寒を訪れる方々へ案内、解説、施設の補修、資料収集等を仲間とともにやっている。また、地元北見市社会福祉協議会の個人登録ボランティアとして、独り居住の老人の方々に対して手紙を書くなどの支援に携わっている。

おわりに

「道民カレッジ」における学習は、わたしにとって、まだ3年間という取り組みである。

しかし、学ぶことで多くの感動を得た。第一は、新しい学問の領域を総合的に体系的に「学ぶ喜び」であり、第二は「達成する喜び」である。100単位の取得も近い。

返送されてきたレポートのコメントと、「連携講座」の会場で出会う仲間の言葉に励まされ、入学するときに抱いた「あこがれだけでは終らせない」気持ちを持ち続け、ボランティアにも専念し、ふるさと「北海道」についても一段と学習を深めたい。

お知らせ

道民カレッジ大学放送講座は、おかげさまで昨年より視聴率が上がり、多くのレポートが提出されました。道民カレッジが生涯学習のひとつの手段として、道民の皆様に着用されてきていることを喜んでいただいております。

さて、その大学放送講座レポート数の増大に伴って、返却業務の迅速化を図るため、提出されたレポートの朱書きメッセージを今年度限りで廃止させていただくことになりました。

受講生の皆様には、大変申し訳ありませんが、ご了承くださいようお願いいたします。

道内11会場で大学放送講座スクーリングが開催されました。



〔札幌会場スクーリングの様子〕



平成15年度放送大学講座に出演した大学講師によるスクーリングが道内11会場で行われました。受講生から「講師の先生と実際にコミュニケーションがとれて、今まで疑問に思っていたことがよく理解できた」という声が多く、生涯学習に対する熱心な姿勢が印象的でした。



〔羽幌会場スクーリングの様子〕

カレッジだより

平成16年3月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局
財団法人 北海道生涯学習協会
〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階
TEL (011) 231-4111(内線36-343) FAX(011) 281-6664
URL <http://www.hsgk.jp/college/>

